

楽しい遊びで会話で世代を超えた交流を深める

第二幼稚園と大平小学校で「昔遊びの会」



1\_「ボランティアみなみの会」のメンバーにお手玉の指導を受ける園児たち 2・3\_「大平第三睦会」の会員の指導でけん玉やあや取りを楽しむ児童たち

地域住民と交流を深め、地域に対する愛着の気持ちと思いを育む「昔遊びの会」が、第二幼稚園と大平小学校で行われました。

1月25日は、南町の「ボランティアみなみの会」(佐竹達雄会長)の19人が、第二幼稚園の3～5歳児112人に、2月12日は、大平地区の老人クラブ「大平第三睦会」(加藤隆会長)や保護者など約30人が、大平小学校の1～2年生約30人に、各施設で昔遊びを指導しました。

第二幼稚園では、園児たちがお手玉やカルタとり、大縄飛び、あや取り、羽根付き、折り紙、こま回しなどに

挑戦。大平小学校では、児童たちがひなまつりにちなんだ話を聞き、桃の節句をお祝いした後、地域の方々に教わりながら、あや取りやけん玉、竹馬、おはじきなどに挑戦しました。

参加者は、見よう見まねで昔遊びに夢中で挑戦し、「うまくできた」などと目を輝かせていました。

「昔遊びの会」の開催は、第二幼稚園は24回目、大平小学校は6回目。各施設ともに、楽しい遊びや会話で世代を超えた交流を深め、地域の方々も夢中で取り組む子どもたちのかわいらしい姿に癒やされていました。

特大の絵札を背負った児童を追い掛ける

白川小学校で「第37回動くジャンボカルタ取り大会」



▲絵札に付いたひもを取ると点数が入る。ひもを取ろうと元気よく走り回った

1月23日、特大の絵札を背負った児童を追い掛ける白川小学校の伝統行事「動くジャンボカルタ取り大会」が同小で行われました。この日は、全校児童68人が参加。学年縦割りの4チームに分かれ、校庭に設けられた25m四方の競技場を舞台に、絵札の獲得枚数や絵札の出来栄などで得点を競いました。

37回目を迎えた今年のテーマは「自然」。絵札も読み札も児童たちの手作りで、読み札が読み上げられると、縦約54cm、横約39cmの絵札を背負って逃げ回る児童を1学年違いの児童が追い掛け、元気な歓声がうっすらと雪化粧した校庭に響いていました。また、今春に同小へ入学予定の白川保育園とひかり幼稚園の園児約20人も招待され、交流を深めていました。

鬼は外！ 福は内！ 早く春が来て、いいことがたくさんありますように！

ひかり幼稚園の園児が「豆まき」 昔話に出てくる桃太郎に扮して福を呼ぶ



1\_すまいるひろばで行われた豆まき 2\_桃太郎に扮して「鬼退治しようよ！ 鬼退治しようよ！」と元気な声で商店街を練り歩く園児たち 3\_商店街のお店を訪問し、「福が来ますように」と手作りしたプレゼントを手渡す園児たち

節分の日(2月3日)を前に1月30日、昔むかしを伝える会(金原輝美代表)と白石まちづくり株式会社が共催する恒例の「豆まき大会」がすまいるひろばで開催されました。「子どもたちに日本の伝統行事を伝えるとともに、子どもたちの笑顔で街に元気を届けたい」と始まったこの催しも、今年で9回目。この日は、ひかり幼稚園の3～5歳児約240人が参加しました。

昔話に出てくる桃太郎に扮した子どもたちは、ひろばに現れた赤鬼と青鬼、黄鬼が扮した「かせひき鬼」「ちらかし鬼」「バイキン鬼」を見つけては、新聞紙を丸めて作った「豆」を、「鬼は外。福は内」の掛け声に合わせて投げつけて鬼退治。鬼退治の後には、「白石に福が来るように」と全員で「福踊り」を披露して、訪れた人たちを楽しませていました。

また、ひかり幼稚園の4歳児たちは、1月29日～2月3日までの間、園周辺の駅前・中町・長町・本町などの商店街を桃太郎に扮して練り歩き、無病息災や商売繁盛を願いました。

園児たちは、「鬼は外！ 福は内！ 早く春が来て、いいことがたくさんありますように」と元気な声で商店街のお店を訪問。商店主に園児たち手作りの折り紙で折った鬼や、桃太郎のイラスト、豆が入ったプレゼントが手渡されると、店主や買い物客から笑顔がこぼれていました。

プレゼントを受け取った店主は、「子どもたちの笑顔は、商店街に元気を届けてくれました。商店街だけではなく、子どもたちにとっても、いいことがたくさんありますように」とうれしそうに話していました。